



## ①ソフトバンク使用電力の再エネ化

### 概要

#### ■ソフトバンクの再エネ化目標

- 2030年までに事業で使用する電力を100%再エネ化※する、カーボンニュートラル2030を宣言(※実質再エネを含む)
- そのうち50%以上を追加性のある再エネで補う

#### ■再エネ化の取り組み

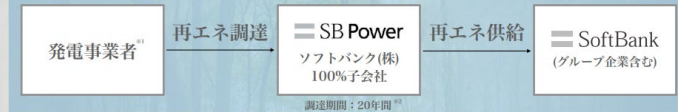
- SBパワーが年間20億kWhの再エネを20年間、固定価格で調達する長期契約を締結し、グループ企業に供給

#### 再生可能エネルギーの調達契約を締結(1)

#### 通信事業で使用する電力量相当を調達

(約20億kWh)

#### 調達スキーム



※SB(100%)子会社である。注：最新の財務報告書及びESG調達報告書参照。K2各事業所からの調達開始は2024年。87

出典:ソフトバンク株式会社 2023年3月期 決算説明会

## ②データセンターへの再エネ供給

### 概要

#### ■背景

- 生成AIの普及に伴い、データ処理に必要な電力需要が急増
- デジタル社会の発展に不可欠な次世代社会インフラを提供するという長期ビジョンを推進

#### ■取り組み

- 北海道苫小牧市に大規模な計算基盤を備えたデータセンターを構築、2026年に開業予定(50MW規模で開業、将来的には300MW規模まで拡大する見込み)
- SBパワーは北海道内の再エネを100%供給することで地産地消のグリーンデータセンター運用に貢献



出典:ソフトバンク株式会社 2023年11月7日 プレスリリース  
[https://www.softbank.jp/corp/news/press/sbkk/2023/20231107\\_01/](https://www.softbank.jp/corp/news/press/sbkk/2023/20231107_01/)